

様式第 3 号

福 井 県

『嶺南地域公共交通計画（案）』に関する 県民パブリックコメント意見募集の結果

令和 7 年 3 月 2 5 日
福井県未来創造部新幹線・交通まちづくり局
交通まちづくり課

「嶺南地域公共交通計画（案）」について、県民の皆様から貴重な御意見をいただき、厚くお礼申し上げます。提出されました御意見の概要等を、以下のとおり公表します。

- 1 意見募集期間
令和 7 年 2 月 1 7 日（月）～ 3 月 3 日（月）
- 2 意見件数（意見提出者数）
6 件（4 名）
- 3 提出された意見の概要および県・嶺南市町の考え方
別添資料のとおり

【お問合せ先】

福井県未来創造部新幹線・交通まちづくり局交通まちづくり課

TEL：0 7 7 6－2 0－0 7 7 4

FAX：0 7 7 6－2 0－0 7 2 9

メール：kotsuka@pref.fukui.lg.jp

**嶺南地域公共交通計画（案）に関する
県民パブリックコメント意見の概要と県および嶺南市町の考え方**

	意見概要	県および嶺南市町の考え方
1	事業1「公共交通の利便性向上」において、新幹線や在来特急だけではなく、ハピラインふくい線との連携を視野に入れるべき。	本計画では、ハピラインふくい線も含め、他の路線と接続がよいダイヤの設定を検討・調整することとしております。 (27頁 事業1-1)
2	小浜線が悪天候により運休（計画運休含む）になることが多く、子どもの通学に支障が出ているので、小浜線が運休になった際に大型バスを高浜～小浜、東小浜、気山間で運行する体制を整えてほしい。	本計画では、列車運休時の対策を強化することとしており、代替交通手段の確保、運休区間の減少のための方策などについて、調査・研究を進めていきます。 (27頁 事業1-3)
3	事業1「公共交通の利便性向上」において、敦賀駅の乗換案内の充実・利便性の向上として敦賀駅コンコース内の誘導サインの充実とあるが、新幹線方面から通路を歩いていても小浜線のホーム番号が分かるように（通路に対して直角）表記してあると便利。	御意見につきましては、今後敦賀駅の案内表示を検討する際の参考とさせていただきます。 (28頁 事業1-5)
4	コミバスの運行時間が、一部の路線を除いて、電車とコミバスを乗り継ぐための時刻になっていないことで、バスを利用したくてもできない。	本計画では、小浜線の運行に応じたバスのダイヤ調整をすることとしております。 小浜線とコミバスが乗り継ぎ利便性の高いダイヤとなるよう引き続きバス事業者等と検討・調整します。 (28頁 事業1-7)

	意見概要	県および嶺南市町の考え方
5	美浜駅や小浜駅からの二次交通の案内を充実させてほしい。 例えば、ゴゴイチバスが期間限定で運行されているが、ゴゴイチバスの存在を知っていても福井県や福井鉄道のホームページ以外からは検索でヒットしにくい。また、チョイソコみはまは観光客も利用できるがあるが、家族5人で利用できるのかが分からず利用登録を躊躇するのではないかと危惧される。 計画の調査結果ではマイカーやレンタカーを利用して来訪する観光客が多いとされていたことから、バスを利用した観光周遊利用者の増加を狙うため、主要駅から発着するバスの案内情報を充実させるべき。	本計画では、公共交通サービス情報の充実を事業として位置付けております。 主要駅における乗換案内や特設サイトの活用、経路検索システムへのバス情報掲載など情報発信に努めてまいります。 (32頁 事業3)
6	嶺南地域の公共交通としては、道路（自動車、バス）に対して集中的に投資し、鉄道（小浜線）は早期廃止を決断すべき。以下理由のとおり。 ・小浜線は単線ですれ違い駅も少なく今後の費用対効果の見込みも含めてダイヤ利便性向上の持続可能性発展性が見込まれない。 ・現状の通勤通学ルートを踏まえてもJ・Rだけで完結せず自動車移動が必要となっている。 ・新幹線駅（新小浜駅）も現駅との併設の計画ではなく自動車利用が必要である。 ・通学（通勤）関係も各学校のカリキュラムに応じて対応できるスクール（会社）バスが現実的で利便性が向上する。 以上のような現実を踏まえて提案する。二兎追うものは一兎を得ずとならないように、道路への集中投資の早期決断を望む。	小浜線は、地域住民の日常生活や新幹線の二次交通として欠かせない重要な公共交通であると考えており、将来にわたって持続させる必要があります。 本計画においては、小浜線を軸とした利便性の高い地域交通の実現を目指し、各種施策を検討・実施することとしています。